

平成29年度学校評価アンケート結果の分析

1 生徒対象アンケート結果から

昨年度と比較すると、25項目中 17 項目で肯定的評価が増加している。

1 私は、校訓「自主・自律」を意識して学校生活を送っている。	81.8% (+2.4%)
--------------------------------	---------------

ここ3年間の肯定的評価の数値を見ると、80.5→79.4→81.8%と 80%程度に落ち着いている。学校の校訓や方針が生徒に浸透しており、校訓を意識して学校生活を送っている様子が伺われる。

学習の習慣について

5 私は、授業以外での学習の習慣が身に付いている。	40.1% (-4.6%)
---------------------------	---------------

1年生の数値が低いのは例年のことである。改善策については、様々な意見があろうかと推測する。学校全体で取り組むべき問題である。差し当たり、新年度に向けてこの3学期に取り組むことは良いタイミングと言えよう。授業以外での学習を通して基礎学力をつけないと応用力の習得には繋がらない。

授業のわかる生徒は応用力を、わからない生徒は復習を、という意識がもてなければ全体的な学力の向上は見込めないと思う。

4 私は、授業内容がよく理解できる。	69.9% (+4.2%)
6 先生は、生徒が積極的に授業に参加できるよう工夫している	71.8% (+2.9%)
7 先生は分かりやすい教え方をしている。	72.5% (+4.4%)
8 授業は基礎学力の定着に役立っている。	81.8% (+4.4%)
9 授業は応用力の伸長に役立っている。	58.3% (0%)
10 授業は私の知的好奇心を満足させてくれる。	51.1% (-3.7%)
11 私は、国分高校の授業に満足している	71.2% (+3.9%)

授業に関する項目では、いずれも肯定的な回答が50%～70%台である。唯一、項目8の「授業は基礎学力の定着に役立っている」が80%を超えている。ところが4の「私は、授業内容をよく理解している」が69.9%と高くない。受験を意識して、より発展的な内容を求めている生徒と、基礎学力がやや足りず、授業についていくのに苦労している生徒の両面が推察される。これを解決するのは難しい問題である。基礎的な内容は丁寧に指導し、定着を図る。また、応用的内容も取り入れるなど、創意工夫が必要である。授業そのものに対する研修など、教員側の改善策が求められる。

学習活動（授業・学力向上）に関する項目は、項目番号4～11である。8項目中、今年度は前年度比マイナス評価が2項目であった。前年度比だけを見れば、前年度比プラス評価が2項目のみであった昨年度に比べれば、改善されているようにも見える。ただし実際には、授業に関する全般的な評価は低い。家庭学習に関する項目5については、昨年度から文言を変えた（「家庭学習」から「授業以外での学習」に）にもかかわらず、全体的には数値は下がっている。学年間の差が甚だしいことは例年のことであり、それも含めて、授業以外での学習時間の少なさは本校の大きな課題である。また、「授業の分かりやすさ」や「基礎学力の定着」（項目7, 8）は伸びているが、「知的好奇心の満足度」は下がっており、また「応用力の伸長」も低い数値である。知的好奇心の喚起、応用力の伸長は授業に関する根幹的な部分であり、顧みる必要がある。

「先生はわかりやすい教え方をしている」「授業は基礎学力の定着に役立っている」「授業は応用力の伸長に役立っている」など教員の授業に対する満足度が低い。3年生になり、予備校に通う生徒が増える中、受験期でも学校を休まずに授業を受けるように指導している中で、生徒の授業に対す

る評価が低いことは教員側が深刻に受け止めなければならない。授業評価アンケートなどをもっと積極的に活用し、生徒が満足できる授業を展開していく必要がある。

授業内容の理解できない30%に対して「わかる授業」を実践していると思われる。当然のことながら、「応用力の伸長」ではなく、基礎学力の充実に重点を置いているのだと思われる。

進路面については

12	私は、自分の進路を意識して勉強している	68.6% (+2.9%)
----	---------------------	---------------

1年50%、2年68.6%、3年91.1%と学年が上がる毎に増加している。各学年ともに昨年度より数値が上昇している。一年次の数値も昨年より5パーセント上昇しているので、今後も引き続き様々な進路学習を通じて1年次より、進路ガイダンスなどを通して、効果的な動機付けをして、学力の必要性を示していく必要があるだろう。学力の伸張は早い時期の取り組みが成果を生むので、学校、家庭などで学習時間の確保を考えることが大事である。卒業後の進路への意識が高まってきている生徒が増えてきているが、全般的には、まだ予習・復習など授業準備が不足している生徒が多いと思われる。受験だけでなく、将来の社会人生活を考え、より高い学力を身につけることの重要性を説きながら指導していきたい。

13	国分高校は進路指導に力を入れている	81.6% (0%)
----	-------------------	------------

全体として81.6%の生徒が学校の進路指導を評価してくれている。この指導が生徒にとってよい成果となつてほしい。進路関係の各行事がそういった印象を与えていることは間違いないだろう。

生徒指導・生活面について

14	私は、国分高校の校則や社会のルールを守って行動している。	92.2% (-1.1%)
15	国分高校は生徒指導をしっかり行っている。	86.1% (+0.3%)
16	先生方は、生徒の相談に親身になって応じてくれる。	83.5% (+1.6%)
20	私は、部活動に積極的に取り組んでいる。	85.1% (-0.2%)

高い肯定的回答の項目でも昨年比では微減している項目もあるので、より良い生徒指導体制の充実を図りたい。また、学校への満足度も高いのも本校の特徴であるので、この点を維持していく為の努力も必要である。交通安全、盗難防止、インターネット上のトラブルなどにつながる項目でもあるので、来年度にむけて積極的な働きかけをしていきたい。

「生徒指導をしっかりしている」「先生方は生徒の相談に親身になって応じてくれている」の評価が高いのは、教員が生徒に対して親身に向き合っていることを生徒側も感じていることの表れであると考えられる。

21	私は、きちんと清掃活動を行っている。	91.3% (+1.5%)
22	私は、校内におけるゴミの分別に協力している。	92.6% (+3.8%)
23	私は、自分の健康管理に十分留意している。	90.6% (+3.5%)

清掃活動やごみの分別に於いて、9割近くの生徒が自覚し実践していることがわかる。生徒の健康観は概ね良好である。清掃活動やゴミの分別においても積極的な取り組みが見られる。学習環境を衛生的に向上したい現れである。健康についても意識が高く、健康の維持や向上に関心が見られる。

25	国分高校に学校相談窓口があることを知っている。	50.5% (+6.6%)
----	-------------------------	---------------

「国分高校に学校相談窓口があることを知っている」が 50.5%と、6.6%増と改善されたものの、次年度以降も改善に取り組んでいく必要がある。学校相談窓口の周知は、クラス掲示等で行っているが、集会等の最後に毎回のように伝達しなければ周知できないと思う。

24	私は、国分高校に入学してよかったと思う。	89.0% (-2.5%)
----	----------------------	---------------

学校生活に順応して日々の学校生活を送っている生徒が多いと思われる。およそ9割の生徒が学校生活を前向きに捉えられている。部活動や学校行事のポイントが高く、学校生活の柱となることが伺える。これらの背景には、勉強のみならず、部活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる生徒の姿があり、またそれらを支えている教職員があつてのことだと思う。その辺りを示しているのが次の5項目であると考えられる。学校は生徒が期待している環境を十分に維持できていると判断できる。

授業以外の諸活動への肯定的評価はおおむね8割を超え、満足度が高い。学校生活全般(学校行事・生徒会活動・部活動)に関するアンケートでは、いずれも肯定的な回答が多く、国分高校での学校生活に多くの生徒が満足している。

2	国分高校は、私たちの教育活動にふさわしい環境である。	90.9% (+2.3%)
3	国分高校の学校行事は充実している。	93.9% (+0.8%)
17	国分高校のホームルーム活動は活発である。	77.3% (+2.2%)
18	国分高校の部活動は活発である。	90.3% (-2.2%)
19	私は、梨香祭や合唱祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	93.9% (+1.4%)

2 保護者対象アンケート結果から

回答率に着目すると、この3年間の数値は、66.6%→79.0%→70.1%となっている。保護者のご協力に感謝したい。

学校から家庭への情報伝達という観点で見ると、

1	学校は教育方針を分かりやすく伝えている。	83.5% +2.2%)
5	学校は家庭への連絡や情報提供をきめ細かく行っている。	63.7% (0%)
6	授業公開等の学校行事には気軽に参加する雰囲気がある。	88.7% (+0.7%)

生徒同様に、およそ9割の保護者は学校生活を前向きに捉えている。情報提供に関する項目が低いポイントになっているが、高校では生徒が自分でやらなければならないことが増え、中学校までのギャップに保護者も慣れていない様子である。1学年は、学年職員との接する機会がまだ少ないことや、中学校との比較が考えられる。高校の場合は、中学校ほどの緊密な連携は取りにくい、日常の教育活動において、より信頼が得られるように心掛けなければならない。

6については、各学校行事へ参加する保護者が多くおり、保護者の学校行事への参加が、数値の高さにつながっていると考えられる。本校での学校生活において、概ね肯定的な意見が多いと思われる。しかし、学校からの連絡や情報提供が十分でないとの意見が多い。家庭通知は発行しているが、やはりHPなどによる連絡の充実を図る必要があると思われる。まず、学校からの情報提供にはホームページを充実させることだと思う。しかし、保護者が学校からどのような情報提供を求めているのかを知らなければ対応できないと思われる。

2	学校の教育方針について共感できる。	87.8% (+0.1%)
7	学校の PTA 活動は活発に行われている。	74.5% (-1.8%)

生徒同様、学校の教育方針、学校生活全般に関するアンケートはいずれも肯定的な回答が80%近い値となっている。国分高校での学校生活に多くの方が満足していただいているようである。本校に対して大変好意的に評価していただいている傾向がある。それは担任の先生方を中心とした日頃の教育活動の賜物である。また、総務部を中心とした日頃の保護者との協力関係によることも大きいと思われる。国分高校での学校生活に多くの保護者が満足していると思われる。

次に、個別の指導および相談という設問では、

8	学校の先生は生徒に対し親身になって指導している。	83.0% (+1.7%)
9	子どものことで困ったことがあった場合、先生と気軽に相談できる。	70.4% (-3.5%)

この2項目は、自身に該当することがなければ、回答しづらい設問であろう。概ね問題ない数値と言えるが、20の学校相談窓口の周知も合わせて数値をUPする努力をしたい。

学習面に対する評価では、

11	学校では学力向上に向けた授業が行われている。	73.6% (+2.5%)
----	------------------------	---------------

学習面においては、学校だけの問題ではないが、不満のある保護者も多くいる。学習活動(授業・学力向上・進路実現・家庭学習)に関する項目は、項目番号10～12である。全体的には、いずれも昨年比プラス評価である。保護者が子どもの様子を見ての結果であるので、生徒が3年になって急に勉強熱心になる様子がうかがえる。生徒アンケートと同様、授業に対する評価は保護者からも低い結果が出ている。

12	授業以外での学習の時間を確保し、自主的に学習する態度ができています。	59.6% (+9.0%)
----	------------------------------------	---------------

低い数値(59.6%)ではあるが、生徒の数値(40.1%)よりは高い数値である。子どもの学校生活全般にわたる肯定感(項目3や項目18)との関連か。

学年間の差があることは生徒の結果と同じであるが、生徒の結果に比べると、保護者の方はだいぶ高い数値になっている。カリキュラムと家庭学習に関しては、生徒と保護者間に意識の違いが見られる。

進路面については

10	1年から3年までの教科・科目は子どもの進路実現に対応したものになっている	80.1% (+2.0%)
----	--------------------------------------	---------------

生徒対象アンケートでの分析と重なるが、3年時には個々の進路が個別化し、カリキュラム上無関係と思われる側面がどうしても出てしまうことがあるのではないかと。高校の学習は受験のためにあるわけではなく、教育課程は、3年生になり受験を身近に考えた時に初めて教育課程を真剣に考えるようになり、文理選択ミスなどで後悔しているケースも多い結果なのではないか。また、文理選択を2年生の時から考える保護者もいる。

13	学校は生徒の進路目標の達成に向け、適切に指導している	71.8% (-2.9%)
----	----------------------------	---------------

全体として昨年より1.2%さがり、71.8%になった。生徒自身の進路へのかかわり方が希薄化しているのではないかと考えられる。生徒自身の進路の考え方を把握しにくくなっているのではないかと。保護者も家庭で生徒自身の進学先や就職などについて一緒に考えていく必要があるのではないかと。3年になると77.8%と保護者の肯定的意見が多いので、12年から多くなるような方策が必要であろう。

年々保護者の進路への期待、関心が高まっていると感じている。適切に指導するよう一層の努力、工夫をしていきたい。系統的で効果的な進路指導（進路学習）のプログラムを考えていきたい。

生徒指導・生活面について、

14	基本的な生活習慣が身についている。	84.0% (+0.6%)
15	学校は日常的に頭髪・服装等きめ細かい生徒指導が行われている。	67.7% (-1.9%)
16	学校は子どもの悩みや問題に適切に対応している。	72.6% (-6.7%)

生徒対象アンケート同様、肯定的回答が多い。特に「学校生活」、「部活動」、「先生が生徒に対し親身になって指導している」「基本的な生活習慣が身についている」などの項目では80%を上回っている。また、「日常的に頭髪、服装等について、きめ細かい生徒指導が行われている」も67.7%（昨年度比-1.9%）であり、職員、保護者、生徒間の意識の差、本校の生徒指導体制などの調整が必要と思われるが、やはり職員からのきめ細かい声掛けが不可欠である。肯定的評価が7割を切っているのは、「頭髪、服装などの指導(67.7%)」「Web ページをよく見ている(28.0%)」「学校相談窓口の存在(29.3%)」の3項目であった。問題となるのは頭髪、服装指導であるが、これは学年だけの問題ではないので、学校全体の課題であると考えられる。どうしても教員個々の指導に頼ってしまっている現状があり、特に女子のスカート丈、化粧、装飾品、式典などできちんとネクタイをしめさせることなどについて、職員間の共通理解のうえで同じ指導をすることが保護者の期待に応えることにつながると思われる。

16の「学校は子どもの悩みや問題に適切に対応している。」の割合は低いが、生徒のアンケート16「国分高校の先生方は、生徒の相談に親身になって応じてくれる。」(83.5%)では高い満足感を得られているので、生徒が直接先生と相談していることがうかがえる。また、学校の発信する情報が上手く伝わっていないようだ。現状では逸脱した生徒への個別指導しかないのではないかと。

17	学校は清掃美化や環境整備が十分に行われている。	76.2% (0%)
----	-------------------------	------------

環境美化や施設・設備の関心は高い。施設の老朽化に伴い、壁やトイレなどの補修が必要であろう。美化状況が場所によって、かなりの違いがあるのではないかと。

19	学校のWeb ページをよく見ている。	28.0% (-2.0%)
20	学校に学校相談窓口があることを知っている。	29.3% (-9.8%)

学校のホームページでは、こまめに更新してくれる先生と、しない先生との差がある。更新が少ないなどサイト運営側に問題があると思われる。

「学校に学校相談窓口があることを知っている」は29.3%（昨年度比-9.8%）と、非常に低い評価である。新入生の入学時に保護者・生徒の前で紹介をしたが、あまり認知をされなかった。来年度に向けては、「入学のしおり」や「長期休業前の保護者宛文書」「学年だより」などを活用して、周知徹底をはかっていきたい。

全般的には、

3	私の子どもは、学校が楽しいと感じ、生き生きと生活している。	88.8% (-1.4%)
4	学校の部活動は充実したものになっている。	80.7% (+1.6%)
18	私は、子どもを学校に入学させて良かった。	92.9% (+0.5%)

「学校の部活動は充実したものになっている。」が1.6%増の80.7%となっている。総論として、「私は、子どもを学校に入学させてよかった」、「私の子どもは、学校が楽しいと感じ、生き生きと生活してい

る」が90%以上あることに、本校への十分な評価を感じる。

また、アンケート結果で上昇があれば、必然的に一定程度のところでは下降する。アンケート結果を受け止めて検証することは必要だが、一方でその数字に対して過剰に一喜一憂し右往左往する態度は戒めたい。成果主義的な観点を優先した教育活動は、教育活動そのものを歪める危険性があり、それに振り回されることは逆にマイナスになると思われる。もちろん、保護者との関係について、必要に応じた十分な説明や対応は極めて重要で、保護者との信頼関係がなければ教育活動が十分機能しないというのは論をまたない。そのための日常的な努力が必要である。

3 教職員対象アンケート結果から

教職員アンケートは回答数が少ないため、パーセントだけを見て比較分析するよりも何名が肯定的で、何名が否定的な回答を出しているかを踏まえての分析が必要とのことから、集計結果のグラフの数値は人数で示してある。

学校経営に関する項目では、

1	本校の教育活動の情報提供を適切に行っている。	87.5% (-9.1%)
2	本校は地域社会に開かれた学校づくりを行っている。	98.2% (-0.1%)
3	本校は学校相互、地域社会、関係機関との協力体制が確立されている。	92.9% (-7.1%)

2は、本校の開かれた学校づくりの取組が理解されているといえる。

生徒に関する項目では、

4	本校生徒は、いきいきと学校生活を送っている。	83.9% (-7.5%)
10	本校生徒の授業態度は良好である。	87.3% (-5.7%)

職員自らの授業取組に対する意識と、生徒の授業取組に対する意識は、ともに肯定感が顕著である。「項目 9、10」対照的に(矛盾するように)、生徒の学力向上と学習意欲の高まりに関しては肯定感が低い。「項目 11、12」「真面目な授業態度にもかかわらず、学力向上が望めていない」状態が検討課題である。国分高校が教えやすい、生徒も素直な「良い」学校だ、との印象はここで裏付けられているのではないか。

対照的に

11	本校生徒は基礎基本を身につけ、学力が向上している。	64.2% (-11.7%)
12	本校生徒は自学自習の習慣が身につけており…。	49.1% (-12.3%)

自学自習の習慣と学習意欲に関する項目12が最も低い数値である。生徒、保護者、教員、三者ともに授業以外での学習、自学自習に関する項目が最も低い。これは数年来、本校が抱える最大の課題であるが、授業改善の継続とともに、具体的な方策の検討も必要である。

学年が上がるにつれ、進学を意識させ、自発的な学習を促して行きたい。ここが改善されるためには、授業の内容とレベルの設定、進路指導を意識した授業目標の設定が必須ではないかと考察する。単に授業が「うまくいっている」だけでは不足していると考えざるをえない。「自学自習の習慣が身につけている」の評価が低いことに関しては、学校全体の課題として、教務、進路を中心に組み込んでいく必要があると考える。

7	学年経営や学級経営を行うに当たって、その方針について保護者に理解が得られている。	90.9%(-3.8%)
8	本校の教育課程は生徒の実態やニーズに即したものになっている	70.9%(-8.4%)

学習指導要領の改定時期に当たり、本校でもこれから新教育課程を検討していく時期になった。今後も定期的に見直しを継続したい。進学校にふさわしい教育課程に改善する余地もある。

13	本校では1学年から発達段階に即した系統的・計画的な進路指導が展開されている。	87.3%(-5.7%)
----	--	--------------

学年によって取り組み方が違うところもあり、学年の裁量も残しつつ、どの学年にも共通する系統的・計画的な進路指導(進路学習)のプログラムを工夫していきたい。

それ以外の項目では、

14	本校生徒は、基本的な生活習慣が身についている。	75.0%(-12.9%)
15	本校生徒は、自他の人格を尊重し、他人に対する思いやり…。	82.1%(-11.0%)
17	部活動は本校の教育目標を達成する上で、大きな比重を占めている。	81.5%(-8.2%)
18	生徒会活動(生徒会行事)は本校の教育活動の活性化に結び付いている。	88.9%(-11.1%)
19	本校では生徒が怪我や事故のない学校生活を送ることができるよう…	80.4%(-5.8%)

この5つの項目の評価からも落ち着いた学校の様子が窺える。19の項目の肯定的な回答の減少については、構造的改善により、再発防止に努めなければならないと思われる。

校内清掃に関する項目で、

20	国分高校の校舎内の清掃等は行き届いている。	55.4%(-18.8%)
----	-----------------------	---------------

肯定的回答率が55.4%と低調に対して、ゴミ箱の数をもっと増やしてみてもどうか。生徒の清掃活動への積極性と隔たりがあり、不思議な評価である。職員の清掃担当箇所により違いが大きいのではないかと。床・壁面など清掃活動だけで補えないのではないかと。

教職員自身の項目では、

5	学年会は教育活動の計画・実践・評価の場として有効に活用…。	86.8%(-5.8%)
6	私の学年では、生徒一人一人を大切にしている指導が実践されている。	90.7%(-5.5%)
9	生徒の基礎基本の定着や学力向上に向けて、授業法の改善や工夫…	92.6%(-3.8%)
16	本校の教職員は、共通理解のもと生徒指導に取り組んでいる。	54.7%(-22.5%)

全ての項目で昨年比を下回っている。生徒や保護者対象に比べて母数が少ないとはいえ、職員の意識変化が大きいと思われる。各項目に関しては肯定的回答が多い一方で、「共通理解のもと生徒指導に取り組んでいる」は54.7%（昨年度比-22.5%）と非常に低くなっている。やはり「問題の共通認識不足」も否めない。これまでは随時、頭髪・服装・基本的な生活習慣・交通安全などについての共通理解を図ってきたが、来年度に向けては、年度当初に文書化したものを配布することで、職員間の共通理解を図っていききたい。60名に満たない教員のうち、毎年1割以上は異動する。母数そのものも少ないことを考えると、数字は大きな変動を伴うのが当然と考えられるものの、職員の共通理解の面で評価が低いのは、以前に比べ十分に議論する場が少なくなっていることが要因ではないか。各教科の職員室をこえて話す機会も減っている。生徒のこと、授業のこと、行事や部活動、その他諸々、情報交換したり議論したりする機会が減ったことの弊害は大きいと思われる。共通理

解を進める必要がある。

「共通理解のもとに生徒指導に取り組んでいる」に関しては、生徒指導は学年単位で行われているので、評価が低くなるのは当然である。本校は深刻な生徒指導に関する案件は少ないが、服装等日常の指導に関するものは、もう少し学校全体で共通理解を図ったほうがよい。また、遅刻指導等、学年ごとの取り組みで効果があるものについては、学校全体で行ってもよいと考える。

生徒指導に関しては、学校方針に沿ってではなくそれぞれが共通理解ではなく取り組んでいると思われる。おおくずれした学校ではないので、共通理解を図ることはできても、共通の指導はそれぞれの教育方針があり、難しいと思われる。

より良い職場環境を作り上げるように、学校での教育活動だけでなく様々な活動を通じて協力し信頼できる教育環境を作り上げることが大切であると思う。また、日頃の仕事の忙しさも教育環境に影響を及ぼしているようだ。生徒の授業・生活態度、また校内美化については例年と比べ、低下しているとは思われない。しかし、前年比でマイナスの評価が多いことは、各職員がより高いレベルを目指し、指導を行った結果と思われる。

多くの項目についてポイントが下がっているが、生徒の様子はここ数年の中では良好な方であると感じる。ポイントの低下は、生徒指導（特に服装や生活態度）に力を入れるべきと考える職員が増えてきていること、学習指導に関する意識の高い職員が増えてきていることがあると考えられる。共通理解や教育課程に関する項目も低下しており、職員間で円滑にコミュニケーションをとり、良い体制を整えることが大切だと考える。

平成29年度 学校評価アンケート 保護者記述への回答

今年度は、マークシートのアンケートに加え記述欄を設けました。64件のご要望、ご意見が寄せられましたので回答します。なお、内容について同趣旨のものはまとめさせていただきました。

○学校全般、行事、HP

・PTA 活動はごく少数の決められた親しか参加していない。1年の始めに選出されたメンバーで3年間かわらないというわさを聞いたが、それだと不公平なのではないか。

→PTA役員の選出については、毎年苦勞しており、現状を変えると役員がさらに少数となることが予想されます。役員を希望される方は、ぜひ担任までご連絡してください。

・要望になりますが、先日の台風でメール連絡が朝6:30に配信されましたが、緊急連絡等は出来れば、6時頃には配信していただけるとありがたいです。
・先日の台風21号の様な明らかに交通網に影響が出そうな場合の始業時間を遅らせる連絡は前日にできないでしょうか？
・行事などの連絡を手紙だけでなく、メールで配信してほしい。
・学校からの保護者への緊急連絡手段(メール等)がない為、災害時や台風の時などの対応に困る。

→本校では、午前6時の気象情報をもとに当日の「臨時休業」や「登校時間の繰り下げ」について、午前6時30分から午前7時の間に一斉配信メールを使って連絡しています。お住まい、通学方法によっては、通学に危険がともなう場合は、状況を考慮して公欠等の扱いをしますので、安全に心がけて登校してください。

一斉配信メールについては、入学時に登録のお願いをしています。わからなくなった場合は、担任まで問い合わせしてください。

・学校のHP 見づらいです。もっと一般的にみられるようにできませんか。
・いつも御世話になっております。入学以来毎日生き生き楽しく登校する姿を見ていて国分高校に入学できてよかったと改めて思います。高校受験を控えた中3生にとって、その高校を知る手がかりが学校説明会やホームページだと思います。息子は学校説明会に参加して第一志望が国分高校に変わりました。親はホームページ上の学校評価の分析結果を読んで、この高校に入学させたいと思いました。一昨年あたりはホームページに掲載されている内容が数年前のものが多くて少し残念でしたが、今年度はホームページの内容が度々更新されていて学校での様子がよくわかるようになり、それをきっかけに少し息子と学校の話ができるようになりました。

→ホームページの内容を適宜更新するよう努力していきます。過去のものが掲載されているページが出てしまう問題については検討していきたいと思っております。

○学習指導

- ・2年生で化学の授業がないと理系を受験する方はかなり厳しい受験になります。(3年生になった時に1年間何もやらないと1年生の内容を覚えていない)どのようにすればいいか対策を考えてください。
- ・進路状況に合った授業科目をしぼる。(文系なら数をなくすなど)気分転換の為、体育を増やす。
- ・3学年での化学・物理・数Ⅲは厳しいと感じました。
- ・理数系の学校を目指している生徒さんにとっては授業の仕方考えた方がよいのでは？2年から文系・理系に分かれた方がよい。

→学習指導要領の改訂に伴い教育課程の変更を検討していきます。文理分けについての意見があるが、それぞれ個別の事情による要素があり参考にして検討していきます。

- ・中間や期末などのテストで教科によってはクラスで難易度がずいぶん違う様ですが、評価に差は出してしまうのでしょうか？

→「定期考査問題」と「評価」の関係については、公正性を意識して、教科内で慎重に打ち合わせをしています。

個々の授業に対する要望については、教員は、「生徒による授業評価アンケート」を通じて(または生徒からの直接的な声を通じて)自らの授業改善に取り組んでいます。授業では詳細な解説が必要な場合と、対照的に、教員による講義解説よりも生徒同士による協同的な学びが功を奏する場合があります。授業評価アンケート等を通じての授業改善を行うとともに、授業に関する自らの方針を生徒に理解してもらおうべく、努力しています。

- ・高校に入学してから家庭での学習時間があまりにも無くて驚いています。帰宅してからは、ほとんどスマホを見ている。しかっても聞く耳を持ちません。先生方にとっては今さら・・・という話かもしれませんが、もう一度家庭学習のやり方から指導して頂けないでしょうか。スマホとのつきあい方も厳しく言ってほしいと思います。せっかく入れた学校なのにととても残念です。よろしく願います。
- ・公立高校なので、生徒の自主性を育成することと、厳しく学習を指導することのバランスが難しいと思います。国分高校は、良い意味で平和な面、受験に対してのんびり感が出ている。(これが良いか、良くないかは保護者によって感じ方は異なると思います。)

→授業以外での自学自習の習慣が身につけていないことは、本校の大きな課題です。これまで、改善に向けた方策を検討したこともありますが、今後もその必要性を感じます。

○進路指導

- ・夏休みなどに、もっと補習講習をしてほしいです。部活動に一生懸命になることも良いのですが、進学を考える人も多いので、学校側から雰囲気をつくってほしいです。
- ・放課後、長期休暇において補講などは行われているのでしょうか？受験に向けて各科目があると良いと思っています。

→進学課外、夏期進学課外を実施しております。希望者を年度当初や夏休み前に募集しています。

- ・大学訪問は、以前は2年次で、生徒の希望をきいてグループ分けしていた。クラス別に1年次で振り分けていくのでは、せっかくの機会がもったいないように感じる。

→1年次の10月にクラス別で大学訪問を実施して、早期に大学のイメージを持てるようにしております。その上で2年夏休みにオープンキャンパスに参加する指導をしています。以前2年次に実施しておりました大学訪問は総合学力テストにかわりました。

- ・大学を招いての説明会を生徒対象で開いてください、(国分生の進学者の多い大学希望)保護者向けの大学見学会などもあれば嬉しいです。
- ・先日的一般大学受験の説明会に参加しました。初めての子の大学受験でしたので、とてもわかりやすかったです。これからも続けて欲しいです。
- ・進路説明会に参加しました。もう少し具体的なお話し(推薦入試と一般入試・センター試験)などのお話し、これからどう選択していけば良いのか？伺いたかったです。

→大学・専門・就職説明会は2年次の6月、12月の進路ガイダンスで生徒向けに実施しております。また、3年次には専門学校個別ガイダンス、二学期に一般入試向け個別大学ガイダンスも実施しております。生徒個人として大学などのオープンキャンパスなどを参加して進路について知識を深めてもらいたいと思います。3年保護者対象の一般入試説明会は10月下旬に行っております。入試方法などについては「進路のしおり」で解説しています。

- ・1, 2年も模試(校内、校外問わず)を実施してほしいです。英検・漢検等も学内受験を検討していただきたいです。

→英検は春に学校実施しています。漢検は各自受験することになっています。1, 2年生ともベネッセの学力テストを全員実施しています。また、校外の模試の案内もしています。

○生徒指導

・登校時の自転車のマナーが悪くて気になります。逆走したり車の間をすりぬけてとても危険です。(高塚マミーカート付近交差点)

→自転車の交通マナーは、今後もHR・集会で繰り返し指導し、向上を促したい。しかし、イヤホン、スマホ、傘差しなどの「ながら運転」は高校生だけでなく、社会全体での規範意識の向上への取り組みが必要です。交通安全教育については、生徒指導部では具体的な方策の一つとして、力を入れて実施しています。

毎月15日に実施しているマナーアップ隊の活動に来校された市川警察交通課の方からも「国分高校の生徒さんは、本当に良い交通マナーですね」との評価をいただいています。しかしながら、苦情電話をいただいたり、交通事故も発生しており、なお一層の交通安全教育を行っていきたいと考えています。

・SNSでの写真をアップする生徒が多くてびっくりします。SNS投稿者本人以外は載せないでもらいたいのですが、クラス写真等、個人情報ももれています。我が子には、気を付けるよう注意してもクラスの誰かが載せているので不快です。スタンプも外せる事を知って欲しいです。

→個人情報の流出についても同様に、その危険性やプライバシーの問題について、十分な配慮をできるよう指導を続けていきます。携帯電話などの使用に関しては、入学時の新入生・保護者への説明会、生徒指導講座、集会、各HR、保護者宛文書、校内掲示物など、様々なアプローチで注意喚起を促している。来年度もこれを踏襲していきたいと思えます。

・生徒の指導が不十分に感じます。

→生徒の身だしなみへの指導は、生徒・保護者・職員が共通認識を持つことが大切です。特に保護者の方の協力は不可欠で、きめ細やかな家庭連絡と情報の共有を行っていきます。

部活動

・部活動に積極的なのは感心しますが、週に1日は休みを設けた方が、顧問にも保護者にも負担が減ると思います。子供にも休養が必要ではないでしょうか？

→部活動に関する項目については、部活動顧問会議で確認して、改善すべき点については改善していきま

す。

○施設・設備

- ・学校のトイレが衛生上あまり良くないと思う。
- ・子供がいつもお世話になっております。いつも楽しく学校に通学していますが、環境整備という点で、トイレがとても気になっているようです。(ほとんどが、いまだに和式であり、臭いようです)入りたくなく、トイレを我慢しているようです。志望を決める際も、この点がとても悩みました。早めの改善を希望いたします。
- ・トイレの排水溝から臭いがかなりキツイと聞き、子供達はストレスを感じているようです。早急に改善してほしいと思います。
- ・トイレの匂いが気になります。改修工事をしてほしい。
- ・校舎が古いので仕方がないかと思いますが、管理棟以外のトイレが汚い。学校に行っても正直入りたくない。

→トイレの臭いや流しの衛生状態も悪いので、施設・設備検討委員会の報告からもトイレの改修要望を強く出していきます。施設面の不満は学校レベルではどうなる問題でもないので、引き続き学校として県に要望していきます。

- ・手洗い場に、石鹼ではなく除菌ハンドソープを置くと良い。インフル、風邪防止策になります。石鹼は気持ち悪いし不衛生だと思います。

→ポンプ式液体ソープの導入を検討していきます。

PTA

- ・PTA 活動はごく少数の決められた親しか参加していない。1年の始めに選出されたメンバーで3年間かわらないというわさを聞いたが、それだと不公平なのではないか。

→PTA役員の選出については、毎年苦勞しており、現状を変えると役員がさらに少数となることが予想されます。役員を希望される方は、ぜひ担任までご連絡してください。

○その他 ご意見・ご感想

- ・毎日楽しく通っています。ありがとうございます。
- ・評価項目を「どちらでもない」を入れていただくと答えやすいです。
- ・高校にもなるとそんな学校と関わるのが少ないので、あまりはっきりした回答ができませんでした。子供が「保護者より、生徒に聞いてほしい」と言っていました。
- ・国分高校の卒業生や保護者の話から期待が大きすぎたのか…。言える事は、「愛がない」「感謝がない」と感じる事。一部のことだとは思いますが。誰かのおかげ様で今がある事を忘れてしまっている感

じがします。

- ・クラス替えをして学年名簿が配布されなかったので、同じクラスにだれがいるのか子供から聞くしかなかく学校行事を見学するにも同じ部活の子も見たいので、今後は学年名簿を配布してほしいです。
- ・1年に一回でも担任の先生と面談する機会があるといいと思う。多分、希望者のみとなっていると思うが我が子が手紙を見せてくれないので。
- ・修学旅行説明会はスライドでわかりやすかったです。ただ、ホテルでの食事が口に合わなかったお子さんが多かったようで残念です。
- ・毎日子どもがとても楽しそうに登校しているので国分高校に入学できて本当によかったと思います。行事に参加しても、楽しむ時は思いっきり先生も一緒に関わって下さり、でもちゃんと話を聞く姿勢もできているので、すばらしいと思います。これからもご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。
- ・学級の経営方針(こんなクラスにしたい。このように生徒を育てたい等の)が、伝えられることがないので、義務教育とは違うのだなと思いました。部活動に関しても同様です。
- ・説明や先生方の思いが伝われば、質問や意見も出やすくなり、相談もしやすくなるのではないのでしょうか。
- ・挨拶しない生徒が多い。
- ・いつもお世話になっております。今年度、合唱祭が DVD 販売となりとても嬉しく思います。今後とも是非続けてほしいと思っております。
- ・担任の先生他、子供達と良き接し方に感謝しています。おかげさまで楽しく学校生活を送れています。
- ・この高校に入学させてとても良かったと思います。学校説明会や入学説明会の時に託児スペース+専門の先生1名(お手伝い生徒)があったら良かったと思います。
- ・文化祭、体育祭を見学しました。一生懸命にがんばる国分高校生の姿に感動しました。とても良い学校だと思います。これからも期待しています。
- ・国分生はまさに“自主自律”の生徒さんばかりでした。各イベントも生徒さん主体のものとなり楽しめました。